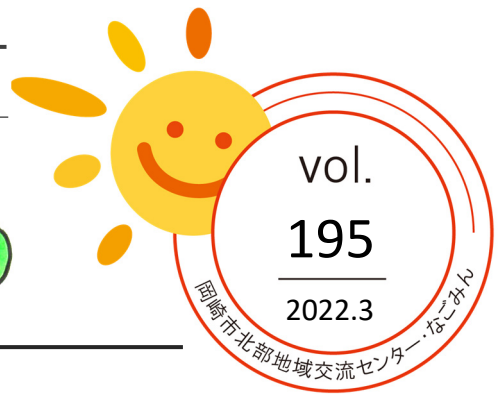




なごみん



わが町の人物紹介

第127回

障がいのある方が誇りを持てる社会を目指す



▲就労サポート アクト

代表 杉浦 真理子 さん



▲ アクトで作業風景と生産中の物品

障がい者就労支援施設「就労サポートアクト」代表の杉浦真理子さんにお話を伺いました。杉浦さんは学生時代、キャンプカウンセラー※1として多くの子どもと出会い、その中で特に障がいのある子どもたちとの交流は、後に養護学校教諭としての人生を決める大きなきっかけとなりました。障がいのある人とどうしたらつながれるのか、また彼・彼女らが卒業し、社会に出ていくときに自分は何ができるのかとさらに考えるようになり、みあい特別支援学校長を全う後も障がい者の社会進出、地域との連携、また働くことで自身の生きている意味を自覚してもらうため、稲熊町に障がい者就労支援施設アクトを立ち上げました。「社会へはばたく人たちがよりよい人生を送れるよう、手助けしたいとずっと考えていました。私はここを拠点に彼・彼女らの自立をしっかりと支えていきたい。」と決意も固い杉浦さん。

アクトでは「岡崎きく工房」という屋号で三河の新鮮な野菜を使った無添加の加工食品生産を行い、岡崎近郊企業との連携や名産品入りを目指しています。窯業製品生産にも力を入れていて、杉浦さんは「製品に責任を持ち、妥協しないということは自分たちが作ったものへの自信と誇りに結びつき、社会に貢献しているという確かな手ごたえにつながっていきます。アクトでは、製品づくりを通して働く気持ちを応援し、働く力をつけていきます。」と語ります。新型コロナウイルスの影響で福祉関連事業所での仕事量が激減するという逆風の中、持ち前の明るさやフットワークの軽さを活かして進み続ける杉浦さんとアクトの活躍から目が離せません。

※1 キャンプを通じて子どもたちの教育を目的としたボランティアを行う学生のこと



市民活動団体紹介

団体より寄稿

◆EMひろば岡崎

人と自然の共生循環型社会形成のために有用微生物群(EM)を利用した自然・無農薬有機農法による野菜栽培や、EM資材の使用法紹介・指導・情報交換・勉強会・実習を行っています。

毎月、講座を開き継続的に学習と実習を行っています。途中編入も大歓迎！いつでもお声がけください。

●団体情報

問合せ先:0564-21-1746 (会長:佐藤文男)

活動日・場所:第1日曜日(なごみん)

第3日曜日(りぶら)

第2・第4日曜日(仁木圃場)



▲ 実習の様子



▲ 勉強会の様子

なごみんからのお知らせ

●作品展示

☆ 岡崎華道連盟

内 容: 生け花展示

場 所: 1階待合スペース

◆ 折り鶴アート(常磐中学校生徒の作品)

日 時: 2/24~3/12

展示者: 岡崎市立常磐中学校

場 所: 1階ギャラリーストリート

◆ 絵画作品展

日 時: 3/13~3/30

展示者: アトリエ・のん

場 所: 1階ギャラリーストリート

◆ 己書作品展

日 時: 4/1~4/30

展示者: さくらくらぶ

場 所: 1階ギャラリーストリート

◆ 母里ん子写真展

日 時: 5/9~5/23

展示者: NPO法人 協育NPO母里ん子 岡崎支部

場 所: 1階ギャラリーストリート

●最新の情報をチェック

新型コロナウイルスの動向により、活動室やプレイルーム、交流スペース等の運用を適宜見直します。なごみんのホームページで最新情報をご確認ください。

【次号以降の誌面変更に関するお知らせ】

日頃より地域交流センターの情報誌にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

これまで地域交流センターごとに発行していた情報誌ですが、次回5月号からは全地域交流センターの内容を整理統合した誌面に変更となります。

統合版情報誌になることで、これまで以上に市民の皆様にとって有益となるセンター情報や市民活動・地域活動の情報を、市内全域の皆様へお届けしてまいりたいと考えております。今後とも情報誌につきましてご愛顧いただくとともに、新しい誌面にどうぞご期待ください。

▼なごみんHPはコチラ



情報誌「なごみん」 >>> 地域の情報、まちづくりに関する情報をお寄せください。

編集・発行: 岡崎市北部地域交流センター・なごみん

所在地: 岡崎市西蔵前町字季平45番地1

電話: 0564-66-8251 FAX: 0564-45-1521

メー ル: nagomin@m3.catvmics.ne.jp

開館時間: 9:00~21:00

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

発行責任者:

(指定管理者):



岡崎まち育てセンター・L'it

